

2026年7月24日

株式会社ちゅピCOM

日本ケーブルテレビ大賞でW受賞
「第 52 回番組アワード」グランプリ 総務大臣賞
「第 19 回プロモーションアワード」プリント部門優秀賞
～ヒロシマからの平和発信番組と、新聞広告プロモーションが高く評価～

株式会社ちゅピCOM（以下「ちゅピCOM」、代表取締役社長・CEO：山本慶一郎／本社：広島市中区土橋町）は、日本ケーブルテレビ大賞「第 52 回番組アワード」でグランプリ 総務大臣賞、「第 19 回プロモーションアワード（プリント部門）」でプリント部門優秀賞を受賞いたしましたのでお知らせします。

「日本ケーブルテレビ大賞」の両アワードにおいて、当社の映像コンテンツ制作力および地域プロモーション活動の双方が高く評価され、W受賞という栄誉にあずかることができました。

ちゅピCOMは今後も、地域に根差したメディアとして魅力的なコンテンツの制作と発信に努めてまいります。

1. 「第 52 回番組アワード」グランプリ 総務大臣賞 受賞作品について

■グランプリ 総務大臣賞 受賞作品：被爆 80 年特番「世界がみた 8・6」

昨年を超える 224 作品の応募作品の中から、ちゅピCOMが山陰ケーブルビジョンと共同で制作した番組が見事選出されました。



本番組は、世界中から被爆地・ヒロシマへ集まる様々な国の人の話に耳を傾け、“今”という時代を切り取った特別番組です。平和記念資料館を拠点に、世界の人々へのインタビューから過去や未来を探り、「国際平和拠点ヒロシマ」から力強いメッセージを発信した点が高く評価されました。

（画像：被爆 80 年特番「世界がみた 8・6」より）

<制作担当者 受賞コメント>

被爆 80 年に合わせて制作したこの番組は視聴者の皆さまからの「広島は戦前の記憶が原爆で全て焼きつくされてしまった、戦前の広島の姿が見たい」「被害の歴史だけでなく、軍都・広島としての側面から、なぜ原爆が落とされたのか、広島の負の部分も正しく後世に伝えてほしい」という多くの声が出発点となりました。

これからも、国際平和都市ヒロシマのケーブルテレビ局として、平和の発信と被爆体験の継承を続けてまいります。

2. 「第 19 回プロモーションアワード」プリント部門優秀賞 作品について

■プリント部門優秀賞 受賞作品：プリント部門「ガラケーが使えなくなります!」

（2 月 17 日掲載 中国新聞 5 段広告）

全国から 109 作品の応募があったプロモーションアワードにおいて、ちゅピCOMのプリント部門への出品作が受賞いたしました。



本プロモーションは、地域にお住まいのお客さまへ向けて、重要なお知らせを新聞広告という媒体を通じて分かりやすく、かつインパクトをもって伝えた点が高く評価されました。

(画像：2月17日に掲載された中国新聞5段広告)

<プロモーション担当者 受賞コメント>

地域にお住まいの多くの方々へ、生活に密着した大切な情報を『いかに分かりやすく届けるか』にこだわって制作した広告です。今回このような評価をいただき大変光栄に思います。

3. 日本ケーブルテレビ大賞について

ケーブルテレビ業界ふたつのアワード贈賞式を同日連続開催するにあたり、今回より「日本ケーブルテレビ大賞」の冠のもと、「番組アワード」と「プロモーションアワード」が並び立つように名称が変更されました。

「番組アワード」は地域から発信される映像文化の発展とコンテンツ制作力向上を目的に開催され、「プロモーションアワード」は地域でのプロモーション活動を顕彰し、各地の優れた事例の数々を共有することを目的に開催されています。

【参考：企業概要】

社名：株式会社ちゅピCOM

所在地：広島県広島市中区土橋町7番1号

代表：代表取締役社長・CEO 山本 慶一郎

創業：1984年12月

資本金：1億円

主要株主：(株)中国新聞社、(株)エディオン、JA広島市、中国電力(株)、(株)中国新聞文化事業社、広島市、安芸郡海田町、安芸郡府中町、尾道市、府中市、神石郡神石高原町 ほか 計176名

サービスエリア：広島市、尾道市、福山市、府中市、大竹市、廿日市市、安芸郡府中町・海田町
山県郡北広島町、神石郡神石高原町

URL：<https://www.chupicom.jp>

<本件に関するお問い合わせ先>

報道機関の方	株式会社ちゅピCOM 営業企画部 TEL 082-296-5564
一般のお客さま	株式会社ちゅピCOM お客様センター TEL 0800-555-2525 (9時30分～18時 年中無休)